

# 四国圏広域地方計画 リーディングプログラムの概要

平成22年6月

四国圏広域地方計画協議会

# 四国圏広域地方計画〔リーディングプログラム一覧〕

\*リーディングプログラム：重点的に取り組むことにより、対外的にプロジェクトの推進が目に見え、また、他の取り組みへのインセンティブになるような取り組み

PJ No.	プロジェクト名	具体的取組
1	人と文化を育む産学官連携プロジェクト	「四国はひとつ」という意識を共有し四国の将来を支える人材の育成
2	緑の島四国の森林共生プロジェクト	森林・林業の再生に向けた体制づくり
3	南海と瀬戸内の食彩展開プロジェクト	「四国の食」ブランドの確立に向けて、農商工連携等による農業・農村の6次産業化を推進
4	きらり輝く技術力・健康支援産業クラスター形成プロジェクト	健幸支援産業創出事業（「医療・介護・健康関連産業」支援事業）
5	圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト	四国圏の地域力向上に向けた物流施策の強化
6	防災力向上プロジェクト	東南海・南海地震への対応強化
7	中山間地域・島しょ部活性化プロジェクト	中山間地域における地域防災力の強化
8	四国霊場八十八箇所と遍路文化により地域をつなぐプロジェクト	お遍路を活かしたまちづくり、地域づくりの推進
9	瀬戸内フィールドミュージアムプロジェクト	既存航路・クルーズ船等を活用した観光振興の推進
10	黒潮洗う南海輝きプロジェクト	生産から加工・販売にいたる新水産業クラスターの形成

# No.1 人と文化を育む産学官連携プロジェクト

## リーディングプログラム

名称：「四国はひとつ」という意識を共有し四国の将来を支える人材の育成

チーム名：e-Knowledgeコンソーシアム四国

(徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、四国大学、徳島文理大、高知工科大学)

概要：

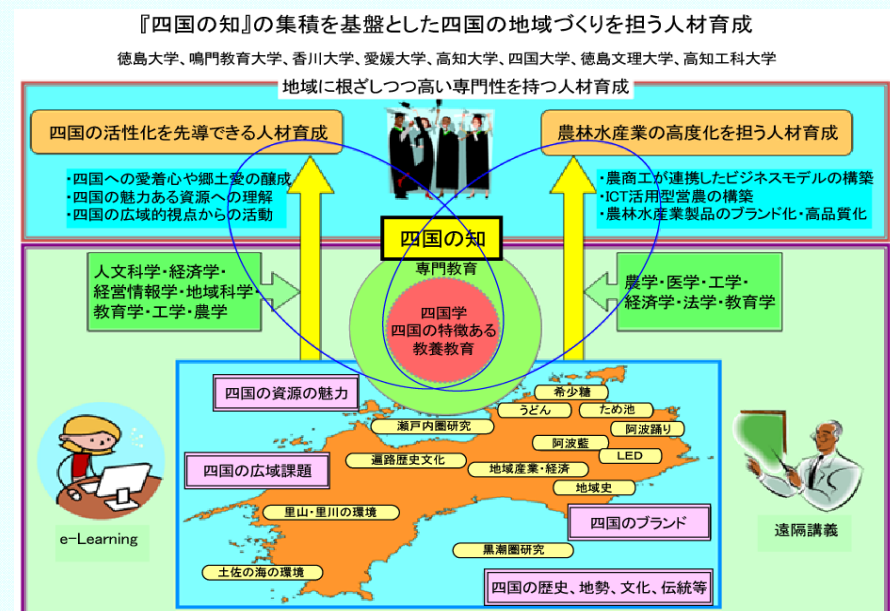
四国内の8大学が連携して、ICT（情報通信技術）を活用したe-Learning（eラーニング）による教育プログラムを通して、「四国の知」を集積・発信し、四国の地域づくりを担う人材の育成を目指す

### ○平成21年度までの取組状況

- ・平成20年度より取組開始
- ・e-Learningの環境整備
- ・e-Learningのコンテンツ開発
- ・実施方法の検討（単位認定規定の整備、単位互換包括協定の締結など）

### ○平成22年度の取組

- ・引き続きコンテンツ開発
- ・教養教育科目と専門教育科目について連携大学間において遠隔講義を開始予定



## No.2 緑の島四国の森林共生プロジェクト

### リーディングプログラム

- 名称：森林・林業再生に向けた体制づくり
- チーム名：四国林政連絡協議会（S51設立 4県林務部局、森林総研、四国森林管理局）  
地域材利用促進協議会（H21.6設立 4県林務部局、四国森林管理局）
- 概要：森林の団地化、路網整備の加速化、効率的作業システムの普及、木材の安定供給、利用間伐や林地残材の有効利用の推進を図る。

#### ○平成21年度までの取組状況

- ・四国森林管理局、徳島県、愛媛県、高知県において森林の団地化を推進  
徳島県：林業飛躍プロジェクト（H19～）  
愛媛県：森林そ生プロジェクト（H18～）  
高知県：木の産業づくりと森林の再生プラン（H18～）
- ・民有林と国有林が地域材の需要拡大等に取り組むため四国 4県と四国森林管理局による「地域材利用促進協議会」を平成21年6月に設立
- ・四国森林管理局と四国4県との間で締結した「四国の森づくりに関する共同宣言」の主旨に沿って、平成21年度は徳島市上勝町で「四国の森づくりフォーラム」を開催

#### ○平成22年度 of 取組

- ・引き続き地域材利用促進協議会の開催などにより、森林の団地化等、木材の安定供給・林業の再生を図る体制づくりを推進
- ・「四国の山の日inえひめ2010」のイベントを開催予定

高知県が進めている  
「森の工場」(団地化)のイメージ



※森林の団地化：所有者の違う森林において、施業・経営の集約化を図ること

## No.3 南海と瀬戸内の食彩展開プロジェクト

### リーディングプログラム

- 名称：「四国の食」ブランドの確立に向けて、農商工連携等による農業・農村の6次産業化を推進
- チーム名：フォーラム「四国サイコー!!」  
(中国四国農政局、四国経済産業局、国の法認定を受けた事業者(認定事業者)246と、支援機関98の計344機関で構成(平成22年2月26日現在))
- 概要：農商工連携等による地域の宝発掘に向けた取組を推進する

#### ○平成21年度までの取組状況

##### ・「農商工等連携促進法」に基づく連携事業計画認定

四国地域:22件(H21年度末)

##### ◆徳島「夢とまと」を活用した、トマトの菓子商品の開発・製造・販売

・高糖度夢トマトを原料にした和・洋・和洋折衷の菓子加工商品の開発と販路開拓

農:(株)アグリベスト  
企:市岡製菓(株)



##### ・「食農連携促進事業」による商品開発等

四国4県において地域産業クラスター協議会を設置

《開発商品例》

◆徳島県(20年度) 阿波やまももソフトクッキー

##### ・「地域資源活用促進法」に基づく事業計画認定

(農林水産品関係)

四国地域:50件(H21年度末)

◆「ゆず・高濃度トマト」を活用したジュース・ゼリーの開発による新たな販路の拡大  
(有)高知アイス(高知県いの町)

#### ○平成22年度取組

・農商工連携等の推進に向けた商談会、販売促進会、マッチングフェアの開催

# No.4 きらり輝く技術力・健康支援産業クラスター形成プロジェクト

## リーディングプログラム

名称：健幸支援産業創出事業（「医療・介護・健康関連産業」支援事業）の推進  
 チーム名：検討中  
 概要：

四国は高齢化先進地域であるとともに、糖尿病や脳卒中による死亡率が全国のトップクラスである。このようなマイナス環境を逆手にとって、全国に先駆け個人の健康状態の把握・維持・増進に役立つ新たな財・サービス・システムを実証する環境(プラットフォーム)を整備するとともに、広く社会に開放することによって、健康・医療分野における新産業創出や社会的課題の解決のための苗床の形成を図る。

### ○平成22年度の取組（新規施策）

#### ・健康・医療情報の収集・統合・利用に向けての標準規約等の検討

K-MIX(かがわ遠隔医療ネットワーク)など、四国内の先行事例を参考に、各種情報を収集・統合・利用するための規約を策定し、全国での統合に向けた実現可能性を検証

#### ・実証プラットフォームのコアとなる健康・医療DBの概念設計、基本設計

四国内の先行事業で得られた情報を対象に標準規約に基づき、健康・医療データベースの概念設計及び基本設計を行う

### (健康・医療情報基盤)イメージ

実証する健幸支援産業群(医療・介護・健康関連)の財・サービス

【医療関連】 医薬品、医療機器、…  
 【介護関連】 福祉用具、介護サービス、…  
 【健康関連】 健康食品、運動・食事療法、…



#### 健幸支援産業創出基盤(プラットフォーム)

【産業創出】 ○新製品・サービスに対する効果・効用の検証 ○消費者ニーズの把握 ○治験の迅速化  
 【社会的課題の解決】 ○課題先進地域である四国での実証を通じて、全国のモデルとなる健幸な地域社会を実現

#### プラットフォームの構築を支える先導的取組

○全国で最も優れた医療情報の共有環境  
 ○健康・医療に関する数多くの先端的実証事業  
 ○先駆的コミュニティカードによる個人情報管理基盤

インフラ基盤

○地域医療の高度化と個人の健康の維持・増進、健康関連産業の育成に向けた産学官ネットワーク  
 (「ヘルスケア・イノベーション・フォーラム」、…)

産学官ネットワーク

## No.5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト

### リーディングプログラム

名称：四国圏の地域力向上に向けた物流施策の強化

チーム名：四国国際物流戦略チーム

(国の支分部局、4県港湾管理者、大学、経済団体、海運・陸運関係者等)

概要：

アジアを始めとする世界との円滑かつ効率的な国際物流ネットワークの構築に向けた具体策を検討し、産業競争力の強化による地域力の向上を図る。

### ○平成21年度の実績

平成21年度に「四国の外貿コンテナ貨物輸送効率化検討WG」を3回開催

#### 【検討内容】

- 外貿コンテナ航路の充実
- 基幹航路との円滑な接続を確保するための内航フィーダ輸送機能の強化等



▲外貿コンテナ航路の充実



▲内航フィーダ輸送の機能強化

### ○平成22年度の実績

・物流施策の強化等、港湾・空港・道路等の機能・連携強化に向けた検討を進める。

# No.6 防災力向上プロジェクト

## リーディングプログラム

名称：東南海・南海地震への対応強化

チーム名：四国東南海・南海地震対策連絡調整会議

(H17設立 国の支分部局19機関、4県及び4県警察本部、オブザーバ8機関)

概要：

国の機関・4県等が参画した「四国東南海・南海地震対策連絡調整会議」による広域合同演習の実施や災害時の連携体制の充実を目的とした取組を推進する。

### ○平成21年度までの取組状況

・広域合同演習、ヘリ・固定翼機による情報収集と配信などの充実に向けた取組を実施

### ○平成22年度の取組

・引き続き「四国東南海・南海地震対策連絡調整会議」による広域合同演習の実施と災害時の連絡体制の充実を目的とした取組を実施予定

### ○広域合同演習



広域合同演習の実施状況(H22年2月12日)  
防災関係34機関によるヘリ・固定翼機による情報収集と配信・共有訓練

### ○四国防災トップセミナー



開催状況(H22年1月26日)  
四国内75市町村長など約280名  
が参加



# No.7 中山間地域・島しょ部活性化プロジェクト

## リーディングプログラム

名称：中山間地域における地域防災力の強化

チーム名：検討中

概要：

災害時における初期行動を行うための情報（人材、重機、資機材、避難場所等）を共有化するとともに、集落毎の防災力を評価し、保全等を推進する。

### ○平成21年度までの取組状況

・モデル町村における既存の情報（人材、重機、資機材、避難場所等）を基に、地域防災力を評価し、維持向上方策について検討。

災害時の初動活動を行うための防災リソースマップを作成（人材、重機・資機材、避難所等の施設設備の現状把握）



集落毎の防災力アセスメントを実施  
・各集落の警戒避難体制の強化  
・人命保護上重要な施設の保全  
・防災基幹集落を重点的に保全



地域防災力を向上

### ○平成22年度の取組

・中山間地域への地域防災力等の現状説明(自主防災組織・住民)  
・モデル市町村を含めての試験的実施に向けた実施メニューの検討



# No.8 四国霊場八十八箇所と遍路文化により地域をつなぐプロジェクト

## リーディングプログラム

名称：お遍路を活かしたまちづくり、地域づくりの推進  
 チーム名：「お遍路を活かしたまちづくり・地域づくり推進のための調整会議」  
 (H21.5設立 国の支分支局、4県、57市町村、経済団体等)

概要：  
 札所周辺及び遍路道の保全・整備や景観形成を進めるため、国の関係機関からの関連情報の提供等を踏まえ、県・市町村等のお遍路を活かしたまちづくり・地域づくりになる取組を具体化し推進する。

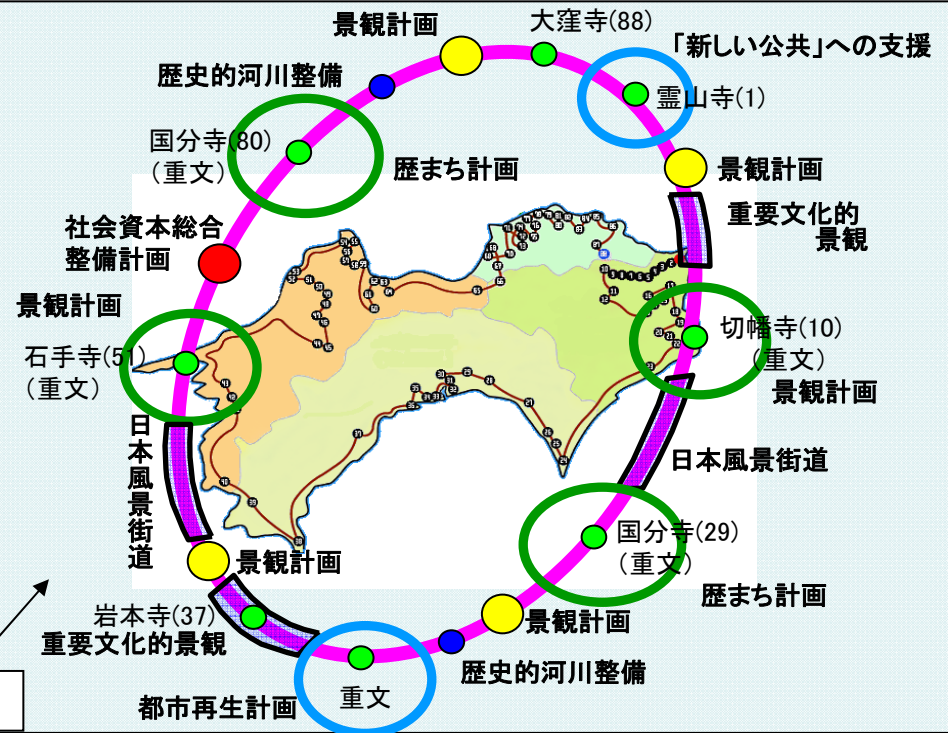
### ○平成21年度までの取組状況

- ・「お遍路を活かしたまちづくり・地域づくり推進のための調整会議」をH21.5.21設立
- ・県別作業部会において、関連市町村へのアンケートによる意向や取組予定を調査。今後の支援方策などの検討・情報提供を実施。
- ・モデル地域において具体的なまちづくり計画を策定

### ○平成22年度 of 取組

- ・「お遍路を活かしたまちづくり・地域づくり推進のための連絡調整会議」については、H22.3.16に設立した「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会における受入体制の整備のための部会(仮称)として発展的統合を検討・連携して札所周辺のまちづくりについて推進していく。

四国八十八箇所遍路道保存活用イメージ



## No. 9 瀬戸内フィールドミュージアムプロジェクト

### リーディングプログラム

- 名称：**既存航路・クルーズ船等を活用した観光振興の推進
- チーム名：**「クルーズ船等を活用した観光振興検討会」の開催を検討中  
(四国運輸局、四国地方整備局、四国経済産業局、自治体、  
四国経済連合会、四国ツーリズム創造機構、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会、等)
- 概要：**  
瀬戸内海の魅力を堪能できるよう、船に乗る事自体を楽しめるよう、既存航路等も活用したり、クルーズ船を活用したりなどして瀬戸内の観光振興の推進を目指す。

#### ○平成21年度までの取組状況

- ・瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会において、小型クルーズ船を活用した社会実験を通して、クルーズルート の 検 証 と 小 型 ク ル ー ズ 船 が 着 岸 可 能 な 施 設 の 状 況 調 査 を 実 施。
- ・四国圏広域計画推進室において、瀬戸内海におけるクルーズ船の運航についての現況調査及び課題・問題点についての検討調査を実施。

#### ○平成22年度 の 取 組

クルーズ船を活用した効果的な社会実験を通して、クルーズルートを設定・検証していくとともに、寄港地の係留施設・観光情報を取りまとめたマリーナマップ(仮称)の作成に着手予定。

#### ▼小型クルーズ船を利活用したクルーズルート の 設 定 及 び 係 船 施 設 の 検 証



**クルーズ航路の設定**  
宇野港発 直島、与島上陸(地中  
美術館、瀬戸大橋フィッシャーマ  
ンズワーフ)

**着岸可能な施設の状況を調査**  
女木港係留施設 この他にも、  
プレジャーボートの係留施設有り。

# No.10 黒潮洗う南海輝きプロジェクト

## リーディングプログラム

名称：生産から加工・販売に新水産業クラスターの形成

チーム名：（検討中）

概要：要：

産・学・官連携のもと、愛媛県南予エリアの水産養殖業を核とする産業クラスター形成を目指して、研究開発や地域の産学官連携ネットワーク形成等に取り組む。

### ○平成21年度までの取組状況

- ・持続的養殖生産を目指した開発研究を進め、南予の養殖・加工・流通業者の生産・販売・経営状況を調査・分析
- ・他県の成功事例及び先進地を調査し、輸出、直販、業務用に関するマーケットニーズを分析
- ・①高度管理型魚類養殖技術、②未利用バイオマス飼料化技術、③温暖化対応型真珠養殖技術の3つのテーマ関にして産官学が連携して研究を実施

### ○平成22年度取組

- ・3つのテーマに関する連携研究及び新流通パイロットモデル研究を継続して実施。
- ・3つのテーマに関連した可能性試験(公募)を実施
- ・研究発表会による成果の報告及び推進会議の開催



▲養殖技術等の研究開発